

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 35-001

PDCA	事務事業名	診断書等発行事務事業	部課等名	半田病院事務局 医事課 医 事担当	担当 内線等	山本 1111	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第3節 健康増進と医療体制の充実					
		基本施策： 3. 半田病院					
		単位施策： 個別施策：					
根拠法令等	—						
対象・目的	患者やその家族から依頼された診断書等の書類を、可能な限り速やかに発行することで、患者サービスの向上を図る。						
目的を達成するための手段・活動内容	診断書等は、ケース・バイ・ケースで長くかかる場合があるが、平均で5日程度で作成されており、目標に達しているとして当該事業は廃止とする。なお、早期の書類作成については、従来どおり継続していくこととする。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①診断書等発行件数	15,341	15,318	15,160	件	
		②					
		③					
		事業費	—	—	—	千円	
		人件費	—	—	—	千円	
		総事業費	—	—	—	千円	
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①						
	②						
	③						
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①診断書等記載平均所要日数	実績値	5.5	5.5	5.0	日数
目標値			4.5	4.5	5		
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	—	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		診断書等については、その作成にあたり、病状経過の観察が必要なものなど、作成までに時間を要するものがあるが、医師や医師事務作業補助者（MA）等と連携を図ることで、診断書等の記載平均所要日数は5.0日となり、前年度と比べ0.5日短縮することができ、目標を達成することができた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	終了					
		診断書等の記載平均所要日数は5.0日で作成されており、目標に達しているとして、当該事業を終了する。					
	令和元年度の目標	成果指標				目標値	単位
		廃止					